

ビジネスアイデアの概要

一般の気象アプリ・TV 「天気を伝える」のみ、情報は平均化（市や県単位）

パーソナルキャスト

常に膨大な気象データから、10日先までの「**あなたの行動**」に変換
AI気象予報士を日本国民全員に。日常～災害時まで迷わない。

ビジネスアイデアを事業化するための課題

- ① 根拠提示 → 提案だけでは人・現場は動けない
- ② 気象解釈 → 前線・気圧配置を読む専門性
- ③ 法律・責任 → 安全設計と責任ある運用（個人情報保護法，気象業務法，etc...）

事業化の見通し

- 3つの課題を解決：システム設計案・研究成果を保持
 - ・ **介護施設現場での需要**：これまでのヒアリング活動（K-NIC，CARISO）で判明。
 - ・ 関係各所との連携体制：AR様(NEDO)・(株)ウェザーマップ・長岡技術科学大学・長岡市役所
- 次のステップ：**デモ版開発 + 実証実験**

事業者情報

- ・ 高須賀 匠（長岡技術科学大学 GD2）
 - ・ **気象学** × **AI**・機械学習
 - ・ 研究テーマ「気象予報士の再現」
- ・ チームメンバー：雲居 玄道
 - ・ 長岡技術科学大学 准教授

ビジネスアイデア概要図等

⚠ 変更提案

現状の予定
9:10, 上越新幹線
13:30, 東海道新幹線
18:30, JR瀬戸大橋線



提案予定
7:20, 上越新幹線
11:10, 羽田空港

☁ 気象リスクの根拠

台風型の気圧配置（台風14号）の今後の推移は、**予定時間に九州に上陸**していると予想されます。
予定当日の岡山・愛媛にて、強い雨(26mm)と強風(28m/s).
瀬戸大橋線は瞬間風速25m/sで運休確実，予定変更の必要あり。

※ 実体験，個人利用での事例（新潟→愛媛への帰省）